

# 往年の名作が ジムニーで復活

F1をはじめとするモータースポーツシーンで輝かしい実績を誇るOZレーシング。  
その代表作である、WRCマシンの足元を支えた不朽の名作がついに復活。

©オーゼットジャパン <http://oz-japan.com>

フローフォーミング製法採用で軽量化も実現  
往年の意匠を受け継いだ  
レトロで躍動の1ピース



F1をはじめとするフォーミュラレースからツーリングカー、さらにはWEC、フォーミュラE、インディ、WRCなど世界のトップカテゴリー及びトップチームへホイールを供給してきたのがイタリアの名門、OZレーシング。  
ラリーレーシング4×4は約30年前、ジムニーをはじめランドクルーザー、サーフ、パジェロといった本格4WD車向けに展開されたモデル。WRCマシンのグラベル用として生まれ、「OZラリー」というイメージを決定つけた伝説の1本でもある。その象徴的存在が、ついにジムニー様として復活。これは見逃せない。

オーゼットレーシング  
**OZ Racing**

Photo by 塩谷佳史 Text by 酒井賢次

Rally Racing 4×4 ラリーレーシング4×4

SIZE	INSET	HOLE	P.C.D	PRICE
16×5.5J	20	5	139.7	4万7300円
16×6.0J	-5	5	139.7	4万8400円

COLOR レースホワイト、ダークグラファイト、マットブラック、マットブロンズ



ダークグラファイト



レースホワイト



マットブロンズ



マットブラック

しかもリモデル版となる現在のラリーレーシングではなく、往年の旧ラリーレーシングのデザインを忠実に再現しているのだから、歴史的な側面からも優越度は満点だ。

このジムニー専用モデルはジャパングオリティの代表格であるエンケイが製造を担当するが、開発にあたってはイタリア本国と何度も打ち合わせを重ね、ジムニーに最適なフィッティングと往年のデザインを突き詰めた。そのレトロで機能美あふれるスタイリングは、いかにもフリー風で躍動感がバツグン。サイズによって異なるフェイス形状を採用するなど、ジムニーだけの特権も備わる。

ちなみにリム成型には最新のフオーミング製法を採用しており、鍛造に匹敵するほどの軽量性と剛性も確保。ラリー仕様でぜひ使いたい。

# オシャレなイタリアの ラリーカーをノマドで表現

2024年の東京オートサロンで1980年代にWRCで活躍したルノー5、ランチアデルタをモチーフとした「リトルサンク」と「リトルデルタ」を発表したダムド。OZとのコンプリートカープロジェクトの一環なのだが、さらに今年はノマドをベースとした「アルマータ」も誕生させた。テーマは「イタリアのオシャレなラリーカー」。高代表は「OZのブランド力と性能はダムドのイメージにピッタリ」と太鼓判。



# DAMD

<https://www.damd.co.jp>



本格的なラリー仕様とはベクトルが異なる「もうひとつのオフローダー史」を空想してデザインされた仕様。丸目と角フグが絶妙だ。

Rally Racing 4×4

## Matt Bronze

- タイヤ：トヨータイヤオープンカントリーR/T 225/70R16
- ホイール：ラリーレーシング4×4 16×6.0J-5 マットブロンズ



ダムドが装着したのは新色のマットブロンズ。OZレーシングのブラックレタリングが印象的で、レトロ感とスポーティさが同居する。



どこかノスタルジックな装いとなるアルマータに、往年の旧ラリーレーシングの意匠を再現したホイールは好相性。色味もイタリアだ。





ホワイトカラーにレッドの文字はスポーティでOZらしいあいらい。ラリーで活躍したランチアデルタ意識のリトルデルタに好相性だ。

Rally Racing 4×4

Race White

●タイヤ:BFグッドリッチオールテレンT/A K03 225/70R16

●ホイール:ラリーレーシング4x4 16x6.0J-5 レースホワイト



# CASCADE ROCKS

<https://cascaderocks.tokyo>

カ  
ス  
ケ  
イ  
ド  
ロ  
ッ  
ク  
ス



ホイールのレタリングとタイヤのホワイトレターはくどいかと思ったが、やってみると気にならなかったそう。むしろ逆にカッコいい。

## リトルデルタ化を視野にOZを装着

アウトドア志向のカスタムカー製作を得意とするカスケードロックスは、ダムドのコンプリートカー販売店。このノマドはこれからダムドのリトルデルタ仕様で作り込むため、それを踏まえてまずはOZのラリーレーシング4×4を投入した。岩崎店長は「ラリーと言えばやっぱりOZレーシング。ホワイト地にレッドの文字は刺さりませう」。

# AVO TURBO WORLD

<https://www.avoturboworld.jp>

AVOターボワールド  
実はこのシエラは女性スタッフが乗っているそう。バンパーやフェンダーが黒なのに合わせてラリーレーシング4×4もブラックに。



## シエラ用のターボキットで馬力も底上げ

オーストラリアのタービン専門メーカーであるAVOターボワールド。海外でもシエラは人気なのだが「あまりにも走らないのでターボキットが欲しい、との声に応じて開発しました」と江角代表。約50psの出力アップが可能で、ダムドのボディキットとOZのホイール、AVOのターボを組み合わせたコンプリートカーを世界相手に販売中。



ダムドとカスケードロックスのデモカーはノーマル車高だが、AVOの車両は1インチのリフトアップ仕様。アゲた姿もOZはお似合いだ。

Rally Racing 4×4

Matt Black

●タイヤ:トヨタタイヤオープンカントリーM/T 225/75R16

●ホイール:Rally Racing 4x4 16x6.0J-5 マットブラック



約50psのパワーアップを達成することができるシエラ用のターボキット。見た目だけでなく走りの性能も高められるのがAVOの仕様だ。

